

高校の様子を聞く 第2回進路講話 11.30

飯田女子高校の校長先生と飯田OIDE長姫高校の教頭先生から高校生活や受験生の心得、進路選択のポイント等をお話いただきました。3年生の表情は真剣そのもので、自分に照らし合わせて聞き入っていました。



- ・校長先生は学校のことでなく、進路の事を話してくださり、おっしゃったことに共感でき、その通りだと思いました。
- ・自分の進路について見つめ直すことができた良い機会になりました。

梅花駅伝大会に向けて ラベル貼り 12.4 看板・チラシ作り 12.14

来年2月に迫った梅花駅伝大会に向けて、『梅花 PROJECT』の活動も販売準備や駅伝出場に関してどのように関わって活動していくかの具体的な話し合いが始まりました。大会を盛り上げるためにできることを考え、協働して実践していく大切な時期を迎えました。



さっそく販売商品のラベル貼りを分担グループごと丁寧に作業する姿が見られました。看板やチラシにも担当生徒のアイデアが盛り込まれ、先生方も一緒に製作しました。



- ・お茶チョコの目標数が一番多かったので集中して頑張らなければと思いました。シール剥がしに苦労しましたが、他の作業を手伝ったり、全校で協力して取り組みました。これから活動が多くなるので、頑張りたいです。

全校道徳で考える 人権教育旬間 12.3~20

今年度は“言葉”をキーワードに、各学年の担任の先生による全校道徳を3時間計画しました。先生方も参加し、様々な場面から一緒に考えました。

12月4日(火) 校長講話

今年度の全国中学生人権作文コンテストの表彰作品から“自分がされて嫌なことは他人もしない”“自分がいいと思っても、相手は嫌と思うことがある”と気づいたという内容を紹介し、自分の発する言葉をキーワードに人権教育旬間で考えてほしいと話しました。



12月5日(水) 資料名「どうすればいいの？」

『全校道徳』で「どうすればいいの？」について、自分ならどんな言葉をかけるかを考えました。私は、すぐに無視したことを謝り、また相手が自分を無視したとしても、その理由は相手には聞かないようにすると自分は考えました。もし理由を聞くことによって、更に2人の間の仲が悪くなるのが嫌だからです。これからの生活では、全校朝会で校長先生のお話されたことにも気をつけて、相手の気持ちを考えて生活していきたいなと思いました



12月10日（月） 資料名「松葉づえ」



自分の気持ちだけで行動するのではなく、相手のことを考えて行動することが大切だと思いました。前回より自分の考えをしっかりと発表することができました。グループの話し合いでは、一つの意見を広げながら考えることができました。

12月19日（水） 資料名「卒業文集最後の二行」

気持ちを考えるのが難しかったけれど、この授業を通していじめは本当にはあってはいけないものなんだとあらためて思いました。自分も周りに流されないような人になりたいと思いました。

今回は一人で考えてみて、自分には経験がないから難しかったけれど、一人で考えたからこそ自分と違うみんなの考えについても「なるほど」と思ったし、考えさせられることが多かった。話の中の人になりきってできたと思う。



アツアツ ホクホク 焼きいも いただきました 12.7

保護者懇談会の日課を利用して、生徒が育て収穫したサツマイモの焼きいも会をしました。毎年の恒例行事となっており、午前中から校庭で先生方が火の番をしながら時間をかけて焼き上げました。放課後集まってきた生徒と共に甘くてアツアツのおイモをいただき、本格的な冬の到来を感じるひとときを過ごしました。



バトンタッチ 第2回生徒総会 12.10 役員引き継ぎ会 12.11



前期生徒会活動を総括する生徒総会が行われ、“和衷協働” ～学年の壁を越えて活動する～ のスローガンのもと、各委員会活動や生徒会企画について振り返りをした。1,2年生からの積極的な発言により充実した総会となった一方で、生徒会役員の応答や態度に、1年間で“らしくなったな”と成長を嬉しく思いました。



後期新役員が紹介され、翌日には引継ぎ会が行われました。現役員の話を実際にメモを取る新役員の姿から、緊張感とやる気を感じることができました。

待ってます 来入生体験入学・説明会 12.17



来年度入学予定の天龍小学校6年生3名が来校し、1年生と一緒に理科の授業を体験しました。6年生とペアとなり、圧力や静電気に関する発問に対して予測したり実験によって検証したりしました。6年生の皆さんも徐々に表情が和らぎ、笑顔も見られるようになりました。



その後は1年生から中学校生活についてのプレゼンテーションがあり、6年生からの質問にも丁寧に答えていました。先輩となる自覚も芽生えてきた様子があり、4月の入学式を楽しみにする言葉も聞かれました。

この体験入学を通して「自分も2年生になるんだ！」という自覚を持って生活していきたいと思うようになりました。

全校研究授業から 連学年音楽授業 12.20

今年度から2, 3年生合同で音楽の授業を進めています。今回クリスマスイメージしたリズムアンサンブルを創作・演奏する学習を通して、思いや意図をもって表現できる力を育てるための指導について全校で授業を参観し、研究会を行いました。

ひとりひとりが創作したものを重ねたときに生じた新たなリズムを楽しむ笑顔も見られました。複式学級対象校である本校では、連学年授業や合同授業のあり方を継続して研究していきます。



明日から冬休み 3学期は2019.1.7スタート 2学期終業式の話より 12.26

今日は2学期そして平成最後の登校日となりました。2学期の始業式で、「怒」に関わってお話したことを覚えていますか。“怒の心”を意識し、全校で知恵を出し合い、汗を流し、力を合わせて取り組む喜びや楽しさをそれぞれが感じ、自分自身の成長ぶりや決意が達成できたことに満足できる2学期の終わりを迎えてほしいと話しました。



これはひとりひとりの2学期の目標でした。達成度はどうだったでしょうか。次は先生方に皆さんの頑張った或いは成長した姿を推薦していただいた内容です。一人一人紹介します。頑張りを認めていただき嬉しいです。

さて、先生は、今年「**継往開来**」(けいおうかいらい)という言葉を目テーマにして取り組んでみました。「過去の業績を引き継いで、将来の局面を切り開くこと。」という意味でした。来年は、「**3年先の稽古**」という言葉に決めています。先生は3年後に節目の歳を迎えます。この言葉は、相撲界で使われる言葉で、力士の実力は、1カ月や2カ月で身に付くものではない。先を見据えて、じっくり、しっかり体をつくれという意味だそうです。小さな大横綱と呼ばれた元横綱千代の富士さんは、『3年先の稽古という言葉があるんだけど、今日、明日とか一週間くらいやったってすぐに力はつかない。毎日毎日稽古することによって3年くらいたってようやく稽古の貯金ができて、本当の相撲の力ができてくる。そういう信念をもって頑張れる子はよくなっていく』とあるインタビューで語っていました。先生はこれから運動で鍛えるということはありませんが、専門的な勉強や技術や資格取得をめざすなど取り組んでいこうかなと考えています。さらに千代の富士さんはこんなことも言っています。『とにかく今、現状をがんばらなければまず無理。若い子は毎日、がむしゃらに目いっぱい・・・』と。今ここでやるべきことをがむしゃらに目いっぱいやり抜かなくてはならないということです。私は今からでも「3年先の稽古」という言葉を頭に置き、生活していきたいと思っています。

明日から待ちに待った冬休みです。11日間の中に日本や天龍村の文化、伝統行事があります。「これってどういうこと?」とか「なんでこうするの?」と疑問を持ったり聞いてみたり、家族や親戚、地域の人とかかわってやってみましょう。

また、子どもだけで家にいる場合があります。家族の一員としての役割をしっかり果たしましょう。そして計画したように勉強にも取り組むことが大切です。3年生は受験生として特別な休みとなるでしょう。ペース配分を考え、スイッチの切り替えをうまくやって、1月7日に全員元気な笑顔で登校してください。それでは皆さん、よいお年を

お知らせ 感謝状・梅の木・作品展

- ・第38回全国中学生人権作文コンテストへの協力に対して、県地方法務局より感謝状をいただきました。
- ・生徒会活動のひとつである梅の木。仲間のいいところや感謝の気持ちを花に書いて咲かせています。
- ・1年生が家庭科の授業で製作したティッシュカバーが教室前廊下に展示されています。御覧下さい。



お知らせ 新任の先生を紹介します



12月25日より、新しく英語の先生をお招きしました。週4日の午前中、各学年の英語授業を担当していただきます。現在近隣村在住で、以前には飯田市内の中学校にも勤務されたことがあります。外国への留学や学習塾講師の経験をいか



した授業を通して、先生から楽しく英語を学んでほしいと思います。任期は3学期末までと短いですが、よろしくお祈いします。

ハンガープロジェクト 村民一体の製作会 始まる

ハンガープロジェクトの活動が本格的に社会活動に移行し、会議のない水曜日の午後や第2,4土曜日の午前に製作会を設定しました。11月28日(水)に第1回がスタート、年内は3回実施しました。村長さんや教育委員さんをはじめ都合のつく村民の皆さんが技術室に集まってハンガー作りに汗を流し、世代を超えて交流する姿も見られました。生徒が望んだ“五輪アスリートに届けたい”という願いとともに“村を盛り上げたい”という目的が形になってきたことを嬉しく思います。この間、ドミニカ共和国大使館へ50本郵送でき、野球選手を中心に届けていただけのようです。また、至学館大学レスリング部からは、合同合宿をしたモンゴルと台湾の選手へ届けていただいたと連絡いただきました。各新聞社から取材の依頼も続いており、運営委員会によるフェイスブックによってこのプロジェクトも県内外に注目され始めています。第3回製作会を終え、2020本まで残り1620本(12月22日現在)。新たに



デイサービスを利用される皆さんに製作方法をお伝えし、通所の際に協力していただけることになりました。先は長いですが、皆さんの手で着々と前進しています。現在は東海大学陸上競技部へ届けるハンガーを製作中です。1月は12日(土)と26日(土)が製作会予定日となります。



【製作行程の説明】



【思い思いに分かれての作業】



【テーブルを囲み仕上げの磨き】



【女性の参加者も増え】



【中学生による焼印作業】



【デイサービスを訪問して】